
海老グラタンの作法

並盛りライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

海老グラタンの作法

【著者名】

N1083C

【作者略歴】 並盛りライス

【あらすじ】

三回目のデートは夜景の見えるレストラン。彼はそんなに器用じゃないし、きっと何もかも上手くいく気がする。けれど、それで良いの?と私自身に問いかける。

上手くこなすぎでいる。そう思つた。

占いの順位は下降するばかりで。

三回目のデートは夜景の見えるレストラン。設定はマニアカル本そのままって感じだけど、分かりやすい分、期待してしまう。

彼は、そんなに器用じゃないし、中途半端な付き合にはしないと思う。

私は、どう思つてるんだろうか。期待している。嫌いじゃない。でも結婚となると仕事は？家庭に入るつて事？それだけじゃない、私は彼で良いのか？

ある意味、自由に生きてきた。好きなことは好きにやつてきた。それを手放して、得る物つて何だろ？

まだ、結婚つて決まった訳じゃないけど、私達は上手くいく気がする。彼は私をふる理由なんてないし、私も彼をふる理由なんて今の所、思い付きもしないんだ。

そうやって、ダラダラしている内に、どちらからともなく「結婚しようか」ともなって言い始める。

悪くない。悪くないんだけど、それで良いのか？

私の生きてきた、下らなくも、なんだか愛しい私の人生が、そんな順調にいつていよい？

「何見てんの？」

「ああ、コレさ有名なシェフがやつてゐつていうレストラン」

「ふーん、高いんじゃないの？」

「大丈夫。心配しなくていいから」

育ちの良さからくる余裕。それでいて嫌じやない感じ。私はこの男を気に入っている。

「テーブルマナーとか私、苦手なんだよね」

「じゃあ、練習しとく?」

「そうだね、教えてよ」

「じゃあ、あそこなんてどう?」

「えつファミレス? ふふつ、いいねえ行ってみよっか?」

私達は、ファミレスに入った。なんだか「ゴチャゴチャして騒がしく、意味もなく笑いたくなつた。

「俺達、こういう風にメシ食つた事なかつたよね

「そういえば、そうだね」

「将来、子供とかできてファミレスに来たら、昔こいついう所でマナ

ーの練習したんだ、って言うのかな」

悪くない。むしろ、そういう想像は嫌いじゃなかつた。子供とか、

そういうのを重いと感じないでいられるのは素敵かもしれない。

「俺、和風ハンバーグ」

「私は、海老グラタンとサラダ」

料理が来るのを待つている間に、私達は少しだけ将来の事を話した。

結婚しても仕事を続けたい事、でも子供ができたら止めてもいいと思つてる事、家を買うためにお金を貯める事。

不明確で、何一つ順調じやない未来もあるかもしねりない。

「なんか、本番のデート忘れてない?」

「俺なんか、まだ告白すらしていないし」

「例えばの話。もしかしたら、この先にあるかもしれない話」

「もしも、明日で地球があしまいになるとしたら?」

「私は、全財産で服を買う

「好きな人と一緒に過ごす」

「じゃあ、荷物持ち決定ね、もしも、私を好きな人がもう一人現れたら?」

意地悪しすぎたかな。私は少し後悔した。けれど、

「俺の方が好きだつて言つて決闘を申し込む

「決闘つ?」

それでも彼は真剣だった。

「そして勝つ」

絶妙なタイミングで、和風ハンバーグが運ばれてくる。

私は何も言わなかつたけれど、彼は和風ハンバーグをナイフで切り分けた。

「なあ、海老グラタンの食いつて知ってる？」

「え？ 知らないよ」

「俺も」

私達は、仮定する。未来にもし不安で辛いでき事があつたなら、それでも今日の事を後悔せずにいられるだろうか。

きっと後悔すると思う、なんでの時、こういう選択をしたんだろ。うう。そう思うだろう。

けれど、私はもう迷わなかつた、そんな選択をするのは、初めてでもなかつたし、ましてや最後でもないだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1083c/>

海老グラタンの作法

2010年12月13日18時07分発行